



# 南十字星

発行者  
クイーンズランド  
補習授業校  
校長  
丸山吉信



絵 中 2 菅原 杏

## 第三学期終業式に寄せて

待降節第二主日が過ぎ、ブリスベンの街はクリスマスマスのプレゼントを買う人たちが溢れています。クイーンズトリートモールは、まるで正月用品のセールで賑わう年末のアメ横のような人波で溢れ、時計台広場ではライトアップされたツリーの下でキャロルが歌われています。今年も年の瀬が来ました。

補習校は、今週、十二月十二日に第三学期が終わり、長い夏休みに入ります。第三学期は、十月三日から十一回の

授業日でしたが、この間、大きな行事の文化祭があり、子供たちも保護者の皆さんも一生懸命に取り組みました。内容の濃い学期だったと思います。

第四学期の始業式は、一月二十三日です。暑さが厳しくなってきましたが、楽しい夏休みを過ごし、宿題を終えて、元気に戻ってきてほしいと思います。

## 海外子女文芸作品コンクール (二)

海外子女教育振興財団主催第三十六回海外子女文芸作品コンクールで優秀賞を受賞した四年生の作文を紹介します。

「お守り」

小四 石岡結衣

私はここブリスベンにお父さんのお仕事で二年半前に来た。日本でブリスベンに行くというほう告を聞いた時は、英語がしゃべれないとどんなに大変なのか知らなかった。ただ、あこがれていた外国に行けるなんて、すばらしい事だと思っていた。でも、大変だと気がついたのは、初めて学校に行つてすぐだった。学校に入ったしゆん

間、私の知らない世界に入った気がし

たからだ。私は、不安な気持ちでいっぱいだった。どうしよう。こわいよ。家族と一緒にいたいよ。私の目からは、光っている涙がこぼれそうだった。泣きたくない。泣いたらみんなに注目されちゃう。私は、涙がこぼれるすん前に服でぬぐった。私は、泣かないで、一日をがんばって、少しでも楽しい日にしたい、という決心ができた。

学校はつらかった。いいたい事があるのにいえないのがすごく悲しかった。お友達が話しかけてくれて、に、答えられない。毎日つらい事があると、その夜、お風呂の中でずっと泣いていた。でも、お守りを持って行くようになった時から勇気を出せるようになった。「ゆいのお母さんがいっぱい見れますように。」お母さんは、私の心を強くするために、こんなメッセージを書いてお守りの中に入れてくれた。私は、いつも忘れずにお守りをポケットの中にした。お母さんはいつもそばにいる、と自分に言い聞かせて、いつもがんばった。

私は、オーストラリアに来て初めてテニスを知った。私は毎週一回、学校のテニスレッスンをやっている。テニスをしていると、なぜか気持ちが晴れる。体を動かすと、すごく気持ちが

い。何もかも忘れて、体だけを動かす。そういうスポーツが私の大好きなスポーツ。それから私は、UQでもテニスのレッスンを始めた。そして、UQのトーナメントにも出てみた。もちろん、お守りも忘れずに。私のグループの中では、決勝せんに出ることができた。私は、一つ一つの試合の前に、お守りをにぎりしめてからたたかかった。

負けそうな時にもにぎりしめた。だから、がんばれた。対せん相手は、同じレッスンに行っているアニーちゃんだった。アニーちゃんはすごく上手で、いろいろなたーナメントでゆう勝している。せっかく決勝せんに出れるのだから、負けそうになってもあきらめないで、最高の試合にしたい、と強く決心した。ゆう勝者は、先に十二点取ったほうが勝ち。私は、お守りをギュツとにぎりしめた。勝ちたい。勝つて、家族を喜ばせたい。そう願った。試合はせつせんだった。ついに、十一対十一になった。これで決まる。ゆう勝者が決まる。私は深呼吸をして、球を打った。長いラリーだった。でも、私はコートのをねらって打った。アニーちゃんが打った球がネットに引っかかった。何が起きたのか信じられなかった。あこがれていた、ゆう勝。私は、

うれしくてたまらなかった。私は、本  
 くらいの大サイズのトロフィーをもち  
 った。そこには、Winner と書い  
 てあった。私は、急いでお母さんとお  
 父さんのほうに行って、トロフィーを  
 わたした。いっぱいほめてくれて、う  
 れしかった。

私には、お守りがある。見守ってく  
 れる家族がいる。友達がいる。心があ  
 る。だから、大丈夫。もう、学校も楽  
 しい。お友達と会話ができる。こっち  
 の人にとっては普通のことだけど、私  
 にとっては、すごくうれしくて幸せな  
 こと。今度は、みんなからもらった勇  
 気を私があげたい。いろいろなことを  
 学んで、助け合って、どんなにつらい  
 ことがあっても、みんなに感しゃして、  
 自分の力で何でも乗り越えていける  
 人になりたい。友達に、家族に、そし  
 てお守りに、ありがとう。

## 文化祭 (二)

前号に続き、文化祭作品展入賞者を  
 掲載します。また、舞台発表と絵画教  
 室、模擬店の様子を紹介します。

(一) 文化祭作品展入賞者 (続き)

### 【写真部門】

金賞 小四 石岡結衣 「希望」  
 銀賞 小五 コルブ大和 「守りたい、

空と海」

### 【書道部門】

金賞 小四 石岡結衣 「希望」  
 銀賞 小六 ライト胡凜ムーン 「凜」

### 【幼稚部表彰】文化祭芸術賞

石塚茉依来、マクミナン西原優季、ラ  
 ーキン恵以

【最優秀作品賞】(文集アルバム表紙  
 採用)

小学一年二組 仲内美羽 絵画 「ブリ  
 スベン」リバーシティ」

今年の文化祭には、絵画六十六点、  
 写真九点、書道十三点の作品が寄せら  
 れました。審査が終えてから提出され  
 た作品が数点あり、その中にも見事な  
 作品があったことを付け加えておき  
 ます。

### (二) 舞台発表

舞台発表の部では、十一時四十五分  
 に中三のドナルドソン君が開祭宣言  
 をし、それに続いて、中一の黒川さん  
 と佐藤さんの司会進行により、以下の  
 順序で出し物が披露されました。

(1) 中二&中三 寸劇 「ロミオとジ  
 ユリエット」

(2) 幼稚部 合唱 「花は咲く」、盆  
 踊り 「炭坑節」

(3) 小一 合唱 「一年生のうた」、  
 朗読 「おむすびころりん」

(4) 小二 合唱 「さんぽ」

(5) 小三 詩の暗唱 「わたしと小鳥  
 とすずと」、「山のてっぺん」

会場の体育館にはレジャーシート  
 を敷いた家族の輪が幾つも広がり、子  
 供たちの発表を楽しみました。

中二、中三合同の「ロミオとジュリ  
 エット」は、パロディで、楽しく工夫  
 されていました。また、幼稚部から小  
 学部低学年の歌や朗読、暗唱は、どれ  
 も一生懸命さが伝わる良い発表でし  
 ました。

### (三) 模擬店

十二時半に舞台発表が終わり、いよ  
 いよお楽しみの飲食タイムになりま  
 した。模擬店は、保護者会出店のブー  
 スと保護者有志の店の二種類があり、  
 保護者会ブースでは金券で、また、有  
 志店では現金での販売が行われまし  
 た。児童生徒の運営するブースもあれ  
 ばよかったですと思います。来年はクレ  
 プ屋さんやお好み焼き屋さんなどに  
 挑戦して下さい。

(1) 保護者会出店ブース (買取品)  
 炊き込みご飯、たこ焼き、ツナロール  
 寿司、納豆巻き、たくあん巻き、焼き  
 そば、ぎょうざ、唐揚げ、ライスバ  
 ーガー、お茶、カルピス、ラムネ、緑日  
 (水ヨーヨー、スーパーボールすくい、

福袋。

### (2) 保護者有志店

手作りパン、スイーツ、小物、手作り  
 石鹸、輪投げゲーム、手芸品 (ハンド  
 メイド子供服、小物、インテリア小物)、  
 ツナ缶、かき氷、ウォーターコインゲ  
 ーム、フリマショップ (古着、手芸品、  
 手作りスイーツ)、苗、アイスコーヒ  
 ーとアイスティ。

### (三) 絵画教室

十四時から昨年度保護者会長の緒  
 方画伯による絵画教室が開かれまし  
 た。先着二十名の予定でしたが、二十  
 名以上が参加しました。絵画教室のテ  
 ーマは「描線を楽しもう！」でした。  
 初めに、緒方画伯がスヌーピーの絵  
 を描き、線の描き方を見せてくれまし  
 た。このとき、画伯は、何と、逆さま  
 にスヌーピーを描きました。子供たち  
 はこの「逆さま描線法」を学び、スヌ  
 ーピーやとろろなどを逆さまに描い  
 てみました。すると、どの子どもとも  
 かわいい絵が描け、満足の様子。最後  
 に、絵の具で好きな色に着色しました。

